

01

100人100通り
決断の深層

なぜ転職
するのか?

取材・文/内藤高文 撮影/福永浩二



将来を考えて
仕事の幅を起業で広げたかった

前職 地方局・契約ニュースキャスター

転職後 マネジメント会社、化粧品販売会社・社長

河内理恵さん/45歳

PROFILE ● 1961年、広島県出身。卒業後、地元NHK広島報道部にて契約ニュースキャスターとして番組にレギュラー出演する。さらにラジオやイベント司会などをこなし、結婚を機に25歳のときに大阪へ。その後もNHK大阪局のニュースキャスターや司会業をマルチにこなし、2004年10月に有限会社アプローチを立ち上げる。昨年12月から、株式会社メディカルアプローチ (<http://medicalapproach.co.jp/>) の社長も兼務している。

自分分で言うのもなんなのですが、私、仕事が好きで好きなんです。結婚しても、子どもが生まれても、仕事を辞めることは考えませんでした。天職にめぐり合えたというよりも、働くことそのものが好き(笑)。だからこそ、自分の仕事の成果が会社として形に残る独立という道を選択したのかもしれないですね。

大学を卒業して、NHK広島島の契約ニュースキャスターを始めたのは母親に薦められたのがきっかけでしたが、もともとバイトでラジオのDJをやったりして、そういった仕事に興味があったんです。1カ月の研修を終えて、いきなり月曜から金曜までの生放送を任せられました。もう、緊張するヒマもないほど一生懸命取り組んでましたね。それから、ラジオのDJや他局の番組司会もするようになり、

数年後にはレギュラーを月に11本こなしていました。土・日はイベントの司会などをしていたので、休みはほとんどありませんでした(笑)。25歳のときに結婚したのを機に大阪に来てからも、以前ほど多くはありませんが、NHKのニュースキャスターとして出演したり、さまざまな司会業を行っていました。人と会う機会も多く、人脈が広がり、自分で企画・取材をして報道するという機会にも恵まれ、社会人として大きく成長した時期でした。

転職が訪れたのが約7年前。3人目の子どもが生まれたため、安定した収入のある仕事をしたいけれどもならないなあ、と考えていたんです。この仕事は収入にムラがあり、年齢を重ねてもできる仕事ではありませんからね。それで何か資格を取得しようと、なんとなく

産業カウンセラーの勉強を始めたんです。これで勉強意欲に火が付きまして(笑)。そこからコーチング、ファイナンシャルプランナーなどの資格を勉強していきました。そして、会社としての経験プラス、勉強したことを生かして仕事の幅を広げたいと考え、起業をめざすように。まずは、起業資金を貯めて、2004年の10月に実行しました。

取材後記 まずは、講演活動や広告デザインを手がける会社を立ち上げた河内さん。昨年には化粧品販売会社の社長も任せられるようになり、現在は2つの会社を兼務している。いろいろな方との出会いが縁で、2つの会社を経営することになり、今はめっちゃくちゃ忙しいです。でも、任せられたからには、2つの会社をきちんと運営し、主婦業もこなしていきたい。夫と子どもは、私の働きぶりにあきれてますが(笑)。